

教育社会学研究室

吉岡 一志 (よしおか かずし)

自己紹介

岡山県で生まれ育ち、茨城大学、広島大学大学院で学んできました。山口に来てから、外郎、瓦そば、徳地味噌など私の人生に欠くことのできない食べ物に出会えました。かまぼこや、しそわかめも既に私にとっての「ソウルフード」です。

専門

私が専門とする教育社会学は教育現象を通して、社会のありようを解き明かそうとする学問です。例えば、私は子ども文化から、子どもが生きる世界(社会)を明らかにしようとしています。他にも、学校教育 (いじめや不登校、学力など)、家庭教育 (児童虐待やしつけ、子どもの貧困など) にかかわる現象、さらには、アイデンティティ、ジェンダー、サブカルチャー、メディア、コミュニケーションなど、広く人間形成にかかわる事柄が研究対象になります。

専門演習の概要

前期では、オーソドックスな教育社会学の論文の中から学生の興味や関心に近いものを読みながら、教育社会学のエッセンスを学んでいきます。後期では、それぞれの関心に焦点をあてながら、幅広く文献にあたり、関心のある領域の知見を深めていきます。

卒業演習の概要

テーマを絞り、先行研究を整理しつつ、論点を定めます。その後、社会調査の方法にも目配せをしながら、データを収集していきます。現実の捉え方やデータの解釈について相互に議論を進めるなかで、社会学に特有なパースペクティブを養い、複眼的な思考法を身につけてもらいたいと考えています。